（可認物便郵種三第日三十月二十年十治明）（刊日）日曜日及祭日の翌日休刊　明治四十二年八月五日　（木曜日）　第百七十九號（一）

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

（設の當否は本社之れに與らず）

在韓國大審院存置の必要を論す（下）

下森洋洲

固より我か日本國土内にありては國民間の交通頻繁なり從て各地を通して社會的總般の狀況大差なきを以て一大審院に於て法律解釋の統一を圖るは敢て其不可を見すと雖韓國にありては其社會的狀況は我か日本國の內地と殆と月鼈の相違あるものあれば強ひて在東京の大審院をして內地人に對して下したる判決と同一意見を以て之を判斷せしめんとするが如きは或は法律解釋は之を統一するを得べしと雖其解釋を各國情に適應せしめて共同の生存を圓滿ならしめ以て社會の進步發達を助成せしむることは到底不可能のことに屬せん加之大審院所在地の遼隔なるが爲め訴訟費用等は甚だ巨額に達し在韓邦人及韓人は不尠迷惑を見さるを得さるべし從て其結果、在韓邦人に對しては我か殖民政策の本旨に戾り韓人に對しては保護國が被保護國民に對するの道を盡す所以にあらさるの結論を生すべし。

要之在東京の大審院をして內地の判例を基礎として在韓國の判決を統一せしめんとするが如きは法律の解釋をして其國情に適應せしむること能はさるのみならず在韓國邦人及韓人をして經濟上の不利不便を生せしむること大なるを以て余は此の兩點より大に反對を主張するものなり。

又或は經濟的の見地より二審制度を主張する者も之れあるべしと雖是亦余の容易く贊し能はさる所ろなり蓋し法律解釋の統一を圖るは裁判の威信を保持する上に於て必要なるのみならず又文明の知識を有する日人と然らさる韓人との關係は今後益々紛糾錯綜を極むるに至るべければ其間に生する係爭事件の如きも一層困難を致すものあるは自然の數なり殊に日韓兩國の事情に通せさる裁判官か裁判するにおいては其裁判の正當を期する爲め三審制度の必要なるは蓋し論を俟たさるべし況んや彼の費用の如きは眞に大海の一粟些まで意に介するに足らさるに於てをや。

嗚呼韓國は今や其司法權を擧けて我か國に委任せり我か政府たるもの些々たる費用を顧慮して司法權の運用上其完全の方法を採らざるが如きは抑も其受けたる委任に負くの譏を免れさることなき乎敢て當局者の猛省を促さゞるを得ざるなり。

○ハガキ文集

魚遊

●二人の甥へ（其一）

九十郎よ、龜五郎よ。

此間中は能く叔母さんの代筆をして手紙を寄越して呉れた、有難うよ。今から丁度滿三年前、叔父が此朝鮮へ來る時には、お前達は未だ却々手紙の文句など書けなかつたよ、早いものだ、マア〳〵勉強が肝要だ。

●二人の甥へ（其二）

九十郎よ、龜五郎よ。

暑中休暇中は能く叔母さんの看護をして呉れるさうだが、有難うよ。序に叔母さんに斯う謂ふ言傳をして呉れ「叔父は此の酷暑に毎日役所へ出て劇しい勤務を爲し、又家へ歸つてからは汗を拭ふ間も無く、自炊をして來ては實に全く行通ぬ、それだから叔母さんに速く病氣を癒して、一日も早く朝鮮へ歸つて來る樣に」と

（新刊紹介）

●京城理事廳令達　「民團」「保安」「衛生」「營業」「交通」「雜件」の六項に分ち附するに「條約府令」等を以てす唯に當事者の必携書たるのみならで一般居留民の必得置くべき事項なり（京城理事廳編纂）

●東洋時報　韓國に關係厚き本誌は本號に於て特に在韓居留民の參考となるべき記事を掲載せり倉富法部次官の「韓國司法制度の梗概」酸落氏の「咸鏡道に於ける畜牛調査」等は其の重もなるものなり（百三十號　麴町區山下町東洋協會）

●韓國經濟月報　「概況」「國庫」「貿易」「通貨」「金融」「物價」「勞銀」「參考材料」の七項に分ち最近の情勢を詳記したるもの也（五號　度支部編纂）



第十六席　桃川燕玉演

心中にはいろ〳〵あゝ斯うと御考があつたのだが、一言も饒舌ることが出來ない、如何にも殘念に思召したが仕方がないから、武家門で供揃をなされ乘物へ召され、四ツ辻へ掛かつて參りまするると、編笠を戴いて朱鞘の長大小を手挾んだ一名の士、南蠻鐵骨の扇を携へ大手を振つてやつて來た、伊豆樣の御供頭林十郎兵衛「アイヤ將軍家御名代松平伊豆守殿御通り、退つしやい」士「默れ、近衛殿の御內今大路民部少輔と云ふ者である、苦しうない」と云つて供先をズイと突切らうとした、林十郎兵衛之を見て十「アイヤ無禮であらつしやる、將軍家御名代伊豆守殿供先を切るとは何事だ、控へられい」と押戾さうとすると民「汝れ無禮を働く、其分は措かぬぞ」と右手に取つた鐵扇を擧げ林十郎兵衛の額をピシーリ打つた、したたかに打たれましたから眉間を打破つてグラ〳〵と破血をした、アッと云ふ、カラ〳〵と打笑ひ民「よい膽になられつた、其處を退けッ」十郎兵衛を突退けて大手を振つてスタ〳〵往つてしまふ。さア伊豆樣が重ね〳〵殘念でならぬから、早速姉小路納言へ此段を屆けた、近衛殿御內今大路民部少輔と申す仁斯樣々々の猥籍、どうか對決を致したい、そこで姉小路殿も大きに心配を遊ばして近衛殿へ此段を御伺ひになつた、對決に及んで萬一負けるやうな事があれば公威に關はる、如何致したものであらう」で近衛殿が今大路民部を召されて「其方斯樣々々の事があるが如何である」民「それは私所存あつて態と致しました、近頃關東將軍悉く我意增長致し朝廷を蔑ろにし奉る、故にわざと私が打ちました、決して仔細ございませぬ、對決仰付けられますするやう」然らばと云ふので早速其段を姉小路殿へ申入れましたから御安心をなされ、伊豆樣、「明日辰の上刻法廷へ出頭仕るやうに」と御沙汰になる、翌日に相成りまして林十郎兵衛差添澤掛右衛門木村保能出まして、今大路の來るを相待つて居る、所がちよつくり來ない、彼此れ辰の下刻今にもう巳刻にもならうと云ふ時分に、今大路民部少輔長の上下で悠然と立出ました、正面に御着座をなすつたのは姉小路大納言、左右に御役人がズラリと居流れて居る、此方に林十郎兵衛、澤掛右衛門、木村保が控へて居る、向ふへ今大路民部少輔悠然として着座いたしました、姉小路大納言「コリヤ松平伊豆守家來林十郎兵衛、其方近衛殿御內今大路民部少輔に今日對決を願ふ其に在つて尋ねる仔細あらば速に申せ」十「ハッ、恐れながら申上げます、主人伊豆守昨日參內仕つて、即ち大內より下向の砌、主人供先を突切りまするから將軍家名代伊豆守供先を突切つては相成らぬ、無禮であらうと押止めますのを更らに承知致さず、亂暴にも手前眉間を打破り、捨置き難いから即ち御訴へ申し上げたる所でございます」と云ふ、今大路民部少輔之を聽き民「汝が其方は伊豆の家來十郎兵衛と申す奴か、汝は田舍侍、東の荒夷、物の道理を辯へぬも尤もながら能く承れ、我か日本に於て天子が重いか將軍が重いか、何れが重いか其方存じて居るか」十「されはで御座る、天子より重き御方はあるべき筈はない」民「左樣か、されば天子の臣たる將軍、其臣たる伊豆守であらう我は天子の臣たる近衛殿の御內なり汝が主人伊豆とは同等の者である」十「イヤ〳〵主人は將軍家名代でござれば則ち將軍も同樣でござる」民「默れ、汝が主人大內へ昇り龍顏を拜す迄は將軍名代たるべし、武家門を出て退る時は元の家臣の臣伊豆である汝等は田舍侍にて格式を知らざる者だ、伊豆は從五位上我も亦從五位上、伊豆は加判の者、我も加判、然らば同等同格である、然るを我等姓名を申すに、其身乘物に在つて一言の挨拶をせざるは、汝の主人伊豆が無禮と申すもの、殊に汝は陪臣の身分として對決なぞとは不埒至極である、なれども今は格別の情を以て許し遣はす、早々立歸つて主人へ左樣申せ、呆け者めが」何方が調べられる人だか些とも分らない、林十郎兵衛場慣れませぬ事だから殘念ながら一言も返す辭がない、あきれ返つて呆然として居ると今大路民部少輔御掛に向つて「御聽の通りの次第にござる、彼等の無禮許し遣はしまする、此儀委細思召し下されるやう、今日は御役目御苦勞に存じ奉ります」とズイと立上つて御法廷をスタコラ出てしまふ。いや御掛りは心中大に御悅びで、林十郎兵衛を散々叱つて御退けなすつた、之を聞いて伊豆守が何立腹をし、忌々しい奴は京都の青公卿ばら、けれども京都ぢやア迚も敵はぬから、江戸へ一つ呼下して目に物見せて呉れやうと云ふ。是で江戸表へ急使を立てまする、越中守定信から御返辭が來た、そこで伊豆守が近衛關白殿下へ御目通を願ひ、愈々中山大納言を江戸表へ呼下すと云ふ一條。



▲夏季飲料　ブランデー・ブドー酒・ウイスキー・シャンパン　キリンビール・金線印サイダー・シガー・シガレット

卸小賣　洋酒食料品　洋品雜貨　金物陶器　煙草　化粧品類

直輸入商　京城本町二丁目　辻屋　本店電話一四八番　支店電話

朝鮮紳士録

京城理事廳認可　豫約特價金參圓　總クロース金文字入

豫約募集

本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳道管理局通信管理局各民團各商業會議所韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員録を併載致候

登載事項（政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、敎會、寺院、協會、俱樂部組合）

申込締切期日　八月十五日
送本期日　九月十五日

發行所　京城西小門通　京城新報社

豫約申込所　本町二丁目　日韓書房　本町二丁目　文林堂　新王城前　盛林館　北署安洞　大東書館　中署廣橋東邊　滙東書館　中署鍾朝橋越邊　中央書館　南大門通　義生盛號

本紳士録（交詢社式）には韓國各地在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の座右に缺くべからさる要書に有之候

豫約募集

清酒金露
發賣元　京城明治町一丁目　大塚京城支店　電話四百一番

謹告

弊店儀從來仁川本町通りに於て營業致し居候處今回肩書の處へ移轉し一層商務發展に相努め可申候間何卒倍舊御引立之程奉希上候

種苗農具目録　無代進呈　東京麻布三の橋　學農社　電話芝三三三

謹告

齒科專門醫院　京城本町二丁目百卅銀行横　齒科醫勳六等　野田應治　電話一〇四七番

男女生徒募集
簿記學速成教授　規則書郵券二錢
但一人毎に教授す何時入學するも差支なし
新式官廳簿記學教科書　代五十錢
京城壽町二の三七統監邸下　京城簿記學校

●消閑之清遊●
毎日午後開會諸君子陸續御臨を賜へ
京城碁會　京城明治町一丁目（大和湯前〇万隣）
●市中之仙境●

龍　最上醬油

合美術 半衿帯上帯締其他組類各種新荷着夏物大安賣
京城本町一丁目 松 ゑり徳商店

京城新報

世界の公敵となる勿れ
再び安奉線問題に付て

東電に依れば我政府は伊集院駐清公使に對して今後一週間の期日を限り安奉線問題に關して清國政府の確答を求め若し直に我要求に應ぜざるか又は期限内に何等回答を爲さゞるときは自由行動を執るべき旨訓電したりと、依是觀之、清國政府は今に尙ほ安奉線問題に就て我要求を容れざるのみか、例によりて曖昧の態度を取り何等の回答をなさゞるものと見ゆ、是れ清國政府が我帝國に對して誠意を缺くが爲也、若し彼に誠意あらば安奉線問題の如き世界交通機關の完備を期するものなれば、直に我要求を容るゝが當然也、清國政府にして之を拒否するに於ては取りも直さず世界の公益を無視するもの也、須く膺懲するの價値なくんばあらず。

抑も清國政府は何故に世界の公益に資する所の安奉線問題に就て荏苒歲月を空過して我要求に應ぜざるか、常識を有するものより考ふれば殆ど解釋に苦しまずんばあらず、惟ふに是れ地方官の誤れる報道を基礎として立案するが爲ならん、由來清國の地方官は往々にして自己の主張を徹さんとして中央政府に虛僞の報告を爲すもの少しとせず之が爲め中央政府は誤られて外交上に失策を招きたる例なきに非ず、是れ獨り安奉線問題のみに非ず、間島問題の如きも僅に地方官の誤れる報道によりて中央政府は誤られつゝあるなり、然らざれば斯くも清國官憲が橫暴を極めて我に對抗するが如き態度を取る筈なし、清國政府は徒に地方官の報告に誤られて不測の禍を招くが如き措置を取る勿れ。

間島問題、ブラタス島問題の如き小問題なりとも大なる支障は是なしと雖も、安奉線問題の如き世界交通機關の整備を計る緊急問題は清國流の外交によりて空しく時日を經過せしむ可らず、安奉線の改築は世界の公益を增進する所以にして乃ち世界各國の囑望する所にして、清國政府にして際限なく曖昧の態度を取りて我の要求を容れず、有耶無耶の中に葬り去らんとするが如き誠意を缺ける行爲あらば我は自由行動を執りて之を解決せざる可らず、我の行動は決して世界の公益を無視するものに非ず、帝國が世界の公益に資する所を必ずや是認するなるべし、若し某國ありて清國政府に擬援して事實ならば其某國なるものは世界公益の敵なり、或る外交上の爲に世界の公益を妨げんとするが如きは卑劣の所爲と云はざる可らず、余輩は帝國政府の斷乎たる決心を冀みず、清國政府たるもの深く省慮して世界の公敵となる勿れ。

北京電報

▲水害と清帝の賜金 清國皇帝は東三省各地に於ける水害の慘狀を聞こし召され六萬兩の御賜金ありたり

東京電報

▲一銀總會決議 第一銀行にては三日定時株主總會を開き本年度上半期に於ける營業報告をなし一割の配當を爲すこと及び定款に左の一項を追加する事を決議せり
當銀行の韓國に於ける業務に關する勅令を廢せらるゝ時は當行は同國に於ける業務を廢止するものとす但し樞要と認むる場所に於て業務を營むは此の限りに非ず(三日夜發)

▲皇太子殿下の避暑 皇太子並妃殿下には本朝上野發列車にて日光に避暑遊ばされたり

▲官煙販賣擴張 政府は近く濱口專賣局長を韓國に派遣し官煙と英米煙草トラストとの營業現狀を調査して英米トラスト對抗策として從來の釜山京城仁川元山平壤にある東亞煙草會社各支店出張所を廢し新に京城に同販賣部を設置し全韓國の官烟販賣所を指揮せしむると共に滿韓に於ける官烟の製造工場は東亞烟草株式會社に一任し京城と滿洲に二大製造所を新設する計畫也と

▲歲費增額非難 衆議院議員の歲費增額問題は非難の聲高く多分成立せざるべし尙來期議會にも提出せられざる模樣なり(以上四日午後發)

雜報

●日滿鐵道の連絡
我政府に於ては安奉線問題が今日の狀況なるを以て第三國に對する關係上より之れが設備を示すの必要もあるべく旁々以て釜山港の設備は最も急速を要するものあり度支部建築所の築港專問技師なる阪出氏は先月廿二日大藏省よりの急電に接して東上したる由なるが建築所にては釜山築港の圖面に就て晝夜製圖を急ぎ居れりと云ふ

●法令濫發と行政
近時法令の發布を見ること頗る多きが上に各部は專管事務に就き各自の便宜上訓令を濫發するの傾あるより各地方官は適從する所に苦しみ居れる有樣なるが這は地方行政の實果を擧ぐる上に於て最も注意を要すべきことなるべし

●會計檢查成績
從來韓國にては會計事務の整頓を缺き會計檢查の如きも充分に其效なく爲めに明治二十七年度より四十年に至る十四年間に四百三十余万圓の公錢を犯通するが如き亂雜の結果を來したる次第なるが諸制度の進步と共に檢查機關も整備し來り將に昔日の不整[illegible]んとするに至れるが今本年上半期に於ける同事務の大要を示せば推問件數六、官衙に於ける實地檢查總數五十七箇所にして書類檢查中查了したる計算書は一千〇七十六冊、證憑書十六萬五千百八十七枚なりと

●地方官資格審查會
八月四日內部にては大臣次官等出席し地方官の資格審查會を開きたり

●官舍維持と豫備金
韓太子武官邸附屬官舍維持の爲め四日豫備金中より一千七百三十圓支出の旨發布さる

●東拓の貸出增加
東拓會社にては多數の資金融通希望者に對し過般來擔保及び信用の調查中なりしが此程に至り貸出の契約成立せるもの多少多きを加へたりと

●度支部の獻上品
度支部より梨本宮殿下に獻上せる天日製鹽及紅蔘製造に關する同所の寫眞帖は此程出來したるを以て御手許へ送致の手續中なるが同帖は表裝体裁等頗る美麗のものなりと

●永濱盛三氏の任地
今般關稅總長の職を辭したる永濱盛三氏は東上の上にて北海道拓殖銀行の副總裁に任せらるべく內定したる由なるが同行は從來副總裁無かりしも先月定款の改正を爲し之れを置くことに決定したるものなりと京通は報せり

●救世軍と地方民
救世軍の各地布教に就き一時は加入者非常に多かりしも漸次其內容を知悉したると一は加入者には俸給を與ふるものとの誤信を有せしに其支拂之れなきより近來不信用となり勸誘に應ずるもののなきに至れる由

●郡衙移轉と地方費
郡衙の所在地にして僻陬の地に在るものは郡行政上頗る不便なるに依り觀察道より之れが移轉方を申請し來るものあり當局官憲に於ては之れが移轉の必要を認むるも經費の都合上主として地方費の豫算より支出する筈なりと云ふ

●岩佐部長東上用向
東拓會社の金融部貸出事業と韓國銀行の營業が衝突するにつき東拓にては先程來これが善後策に就いて重役間に協議する所ありしが遂に岩佐金融部長を東上せしめ同問題を具体的に解決する筈なりといふ

●滿洲銀行好望?
滿洲銀行問題に關して政府者間に二派の議論あることは既報の如くなるが該問題は勝田理財局長の復命書未だ提出無く從つて未だ大藏省議を經ざるを以て何れとも決定せざるが滿鐵側の設立希望却々熱心なるものあれば結局(一)正金銀行條例を改正して其貸出を擴張するか(二)滿鐵命令書を變更して銀行業を經營せしむるか孰れかの方法に由りて金融機關の設備を完うせしむる事となるべしと

●親耕麥の配布地
東籍田親耕の麥作は其成績良好にして麥作の模範ともなすに足るべきものあるを以て農商工部にては紀念の爲根を付けたるまゝ左の個所に配布したり
水原農業模範場、大邱出張所、平壤出張所、漢城府、各觀察道、農林學校、園藝模範所、臨時花木栽培所、各種苗所

●漁業と降雨の影響
仁川近海にては過般來ヒラ、鯛、かモ等の漁獲多かりしも連日の降雨に連れ河川增水して海に注ぐこと多く爲めに之等の魚族は海岸を去りて沖合遠くに散逸するに至れるを以て仁川を根據として出漁し居れる有明海通漁船の多くは昨今全羅知島沿海の蝦漁場に轉ずるに至れりといふ

●貨幣整理資金高
韓國政府が貨幣整理資金として第一銀行より借り入れ居れる總高金は七月末日の調查に依れば九百二十二萬四千七圓五十三錢九厘なるが新貨の鑄造を爲し之を農工銀行又は地方金融組合等へ貸付たるもの三十二萬六千九百三十圓あるに付き差引八百八十九萬七千〇八圓五十三錢九厘は第一銀行より借り居るものなりと云ふ

●水利事業と漁業
韓國にては從來水利を用ゐ之に對して稅金を徵收する狀稅なるものあり政府の收入は一ヶ年約五六千圓なるが東拓會社に於ては該事業を經營せんと計畫したるも這は一會社の經營に一任し得さるものの故遂に成立せざりしと云ふ又同會社の漁業經營は其后農商工部及釜山水產組合長の岡十郞氏と協議を經て着々進行しつゝありしも東拓會社に於ては平安南北道の漁業權全部を得んとし餘りに其計畫の厖大なるものあるに付斯くては漁業法の改正を要すべきに依り目下行惱みの姿なりと

●國庫金の現狀
七月末日の調查に依れば韓國政府の國庫金現狀は一般會計に於て隆熙二年度の剩餘金二百五十九萬九千一百五十三圓七十錢五厘を有し居れるが同三年度の一般會計に於ては歲入不足二百五十五万三千三百八十三圓十八錢六厘にして作業特別會計は七万八千三百五十六圓〇二錢一厘の不足ある故此二口を合計すれば差引三萬二千五百八十五圓五十錢一厘は第一銀行より借り居る次第なりと云ふ

●未使用公債現狀
七月末の調查に依れば韓國政府が有する公債の未使用金に千二百二十四万五千四百七十三圓七十六錢にして其現狀を擧くれば左の如し

金十七萬八百八十四圓八十七錢二厘　第一銀行當座預金
金百萬圓　同　通知預金
金百五十萬圓　同　定期預金
金九百五十七万三千四百十圓六十七錢　大藏省預金部
金百七十八圓廿七錢　興業銀行當座預金

●七月中の教育狀況
七月中は暑中休暇に際せるを以て外に新施設等の見るべきものなきも最近學部の處理したる教育に關する事務は補助指定學校二十校に對し日本教員一名宛の配置を了へたる事地方教監會議を開催したる事出願學校中九百餘校に認可を與へたる事釜山、仁川に於ける實業學校を開始したる事等なり

●山林の害虫驅除
韓國の山野は由來虫害極めて多く爲めに山林の滅亡を來すものさへありたるが昨年の如き南山獎忠壇附近松林に於て殺虫驅除せるもの頗る多く本年も亦一層發生甚だしく各地とも慘害を被れるもの少からず當局者は夫々警告を與へたる由なるが山林局の直接驅除せるものを聞くに京城のみにても獎忠壇老人亭一帶四十八町步の驅除虫數四十二萬四千八百七疋、東大門外裕陵洪陵松林二十町步驅殺虫數二百四十六萬千疋に上り此他水原莇圃附近及其外の民有林にて目下交涉若くは指示中のもの多しと

●兩線破壞と復舊期
馬山線馬山進永間の鐵道線路は豪雨の爲め破壞せしが今後五日間を經ざれば復舊せざるべしと又昨報京義線新安州嶺美間の線路も同じく五日後に非ざれば開通せざるべし

●地方費と課目
地方費の課目は屢々記載したるが如く觀察使は內部、度支部の認可を得て後始めて之を課することゝなるものなるが這は新に課目を發見せば其都度認可を乞ふべきものにして一見甚だ面倒なるが如きも韓國にては始めて地方稅を課することにもあり斯くせざれば之を愼重にする能はざる爲めなりと

●永濱氏の送別會
永濱關稅總長は六七日頃歸朝する筈なるを以て度支部及關稅局、財產整理局、建築所其他の關係官屬員二百餘名は五日午後七時より荒井次官々邸に於て氏の爲めに盛大なる送別會を開く由

●新協約と裁判所
司法權委任に關する新覺書の交換に付き大審院の某大官は左の如く語れり

▲組織は三審制 今回の司法權委任の大目的は覺書に明記しある如く韓國司法及監獄事務を改善して韓國民は勿論在韓外人の生命財產の保護を確實にするにあり就中外人の有する治外法權の撤去は其の大眼目なるべしさすれば委任後の裁判制度も必ずや先進文明諸國の例に倣ひ三審制度を採用すべきは當然なり

▲經費の增加 韓國裁判所としても大に改善の余地あるを以て今回日本に委任したる以上は尙一層完備するの必要あるべし從つて多額の經費を要するは當然にて現在の韓國司法費二百萬圓及法務院並に理事廳裁判費を合計したる額にては到底間にあはさるべく少くも二百五十萬圓以上を要すべし

▲警察權問題 之は今回の議に上らざ[illegible]り見れば當分此儘なるべし而して現狀にて多少の不便はあらんも別に大體に於て差支なかるべし但し法理上少しく不條理に見ゆるは委任後韓國警察に於て違警罪の速決を爲す事之れなり即ち違警罪の速決は一裁判にして換言すれば司法權の一部なるに司法權委任後韓國警察が之を行ふは法理上不條理なるも此は斯る場合に起るべき變體にして事實に於て何等の差支なかるべし云々

●大阪人會の義擧 大阪出身者を以て組織せる當地の同會々員諸氏は今回大阪の大火罹災者に義捐金を送ることに申合を爲たり

●稅關出張所再願 大邱にては夙に稅關出張所の必要を感じ昨年其の筋に向つて願書を提出したりしが今に至るも許否の沙汰無きを以て今回重ねて請願書を提出せりと

●教科書編纂囑託 文部省參事官文部書記官渡邊董之助氏は今回韓國政府より學部編纂教科用圖書に關する事務を囑托せられたりと

●北村判事の任地 警務局長官房主任より判事に登用されたる北村直甫氏の赴任地は金泉區裁判所にして本月下旬赴任の筈なりと云ふ

●清國巡查の歸國 京城駐在清國巡查は從來二十名の所今回其中十名は歸國することゝなりしを以て去る一日中部布廛屛門清料理店にて送別會を開きたる由

●關東學會の總會 去る一日午後二時より關東學會內にて同會定期總會を開きたるが出席者十四名評議員李始厚の辭任及六七月の會計檢查委員に韓朴愚、朴起來の兩名を選定し三時散會せりと

●警務局の相談會 內部警務局長室に於て同局各課長巡視官等參集して四日午前九時より事務諸般の相談會を開けり

●大成宗教會總會 大成宗教會にては去る一日京城孤兒院內に於て總會を開き副會長の補欠及評議員の撰擧を爲したりと

●三仙詩會の雅會 既報三仙詩會にては三日東小門外姜益馨亭にて元老、各大臣、高官等六十三名集會し韓皇太子の奉答詩を遞作したりと

●岩佐東拓理事東上 岩佐東拓會社金融部長は三日東京に向け出發したり

●朝鮮八月號
表紙からして夏向きとなれり、濟州島の樟林、莞島の森林の兩寫眞版は見るからに凉味肌を襲ひ盛夏の苦熱を忘るゝ心地す、時事評論は依例緊氣橫溢し精勁の文奇警の筆言々句々霜氣を帶ぶ、『新統監』に對する諸名士の希望は別に他の奇なきも採題の警拔なるは確に稱讚の値あり『理事官訪問錄』は時宜に適し『論說』『研究』又再讀の價あり『雜錄』中諸名士の『此の夏を如何に過すべき乎』は時節柄世人の注目を惹き『人物評判記』は例に依りヒマラヤ山人の快筆に依り會[illegible]の性情行狀を遺憾なく品隲し加へて大久保大將大岡力氏の判官稱子評に依りて一層の貲威を添ふ要するに本號は消夏の好伴侶といふべきなり(一卷六號二十五錢本町九丁目朝鮮雜誌社)

●司法官任命 三日左の通り發表せらる
任檢事(奏任四等) 河野靖
同 吉田興策
任判事(奏任三等) 結城顯彥
同 齋藤世

●郡守任命 七月三十一日附を以て羅州郡守以下郡守三十名の任命ありたり

公人私人

▲工藤勇次(太田居留民總代) 上京中の處三日歸田
▲小森元藏(大坂鑛物購買組合理事長) 浦尾へ投宿中同日釜山
▲安藤吉兵衛(平壤林業事務所長) 三日入京三日月へ
▲藤原三郞(長野地方裁判所檢事) 同日入京不知火へ

近事片々

▲韓太子は豫定の如く去る一日東京出發見送人頗る多く上野停車場爲に甚だ賑ふ
▲伊公 保育總裁の同行は無論總裁其日の打扮はフロックコートパナマ帽頗る瀟洒也と
▲安奉線問題今に決せず清國の誠意を缺くや久し帝國政府の嚴談は當を得たる者也
▲何時迄も遲々として決せざれば我は自由行動を取らんと伊集院公使に訓電せりと
▲帝國政府の此擧に出づるは素より至當也列國皆我行爲に同情するに吝ならざるべし
▲間島も尙ほ曖昧たる光景の中に包まる
▲清國は一万の步兵を送るとの說は眞なりや
▲我に於て讓步すれば何處迄もつけ上る
▲總ての點に於て清國の我に對する誠意を欠くは分明也彼等の悟る時は何れの時ぞ
▲一万の派兵が事實ならば清の行爲穩ならず
▲日本政府には日韓協約により財政權を我に收むる考へなりしと報知新聞は記載す
▲然るに伊公肯せず司法權委任となるとの說は何だか眞らしくない定めて虛ならむ
▲韓國鐵道を南滿鐵道に合併して鐵道院の監督に移すは後藤男の宿論也とは事實か
▲併しドーヤラ後藤男の思惑通りになりさうである總て物は勢力に引付らるゝ者か
▲斯くして此際滿韓鐵道の統一を計るは滿韓經營の爲に或は便宜ならむ斷行を要す
▲米國紐育の某はカレム商會に日米戰爭の假想活動寫眞を注文し樂港劇場に開始す
▲米人の奇を好むと南部米人の排日思想を當て込みに斯る事を爲して金儲をなす也
▲如何に金儲けに熱するとも訂盟國の惡感を買ふが如き事をなす奴は所謂非國民也
▲空中飛行器の發明は日を逐ふて進捗し列强何れも其成功に熱中し居るものゝ如し
▲佛國飛行家ブレリオー氏米國飛行家ライト氏に二萬五千弗の賭にて競爭を申込む
▲果してライト氏が其競爭飛行に應ずるとせば其競爭や大に世界の注目を惹かむか
▲我國に發明せられたる飛行器の飛行試驗を早く見たし而も列國を驚かせば痛快也

京電報

▲日野侍從差遣 [illegible]

▲獸疫豫防規則 農商務省令を以て獸疫豫防[illegible]牛皮の輸出不振 元山より輸出する牛[illegible]織するの計畫中なる由は既に報じたるが李俊[illegible]たるが右は警視廳衞生課にて消毒し傳染[illegible]

●天氣豫報(自四日午後六時至五日午後六時) 晴れ



相談の相談 (何んでも御相談に應じ升)

◎問 我輩は獨身である相當の店を持つて居る相當の教育も受けて居る何不自由なく暮して居る併しながら困り居る者は我妻たる其人である若くは記者足下よ入り先に困り居る男子の妻る方も同様である是れさへ首尾能く行なはれば將來の城の之を我輩のみならず依頼に應じ將來國家の爲め個人の爲め相當の女子を選定し賢へ申出教や新聞結婚を得ず此の韓國では女の婦は實に國の繁栄は結合である遅ばひらくらば第一番に我輩である(無名氏)

◎答 結婚の媒介は可なるも本社が其の選定の任に當ることは不可能なり併し其の御希望の點は紙上に申上げる之を審用して色瀬の毀居を防ぐ爲めには各自自身に於て愼重の注意を拂はれんことを希望する(係)

◎問 私は内地に於て多少紗紙業に從事したるものなるが當地に於て下し紙即ち俗に云ふ漉紙の物を小規模の設計を以て漉き出さうと思ひますが將來の見込は如何なものでせう御垂示を乞ふ記者の見込みを知りませ(紙雲生)

◎答 至極の思ひ付きに依れば最も有望なるべしと思惟致します(係)

七百圓の紛失

▲下女の奥様を疑ふ 本町通りの某大家にて此程大枚七百圓の金紛失しければ忽ち家内騒動となり種々詮議をしたる結果...

閔宮相告訴さる

▲強盗殺人の故を以て 現宮内府大臣閔丙奭氏が平安觀察使時代に於て朴燦奎より二萬圓を強奪し剰へ其愛子を殺害したりとの事にて朴は多年來閔氏に向ひ嚴談中なりしが三日總に同氏を相手取り京城地方裁判所に告訴を提起せりと

仁川海岸通の血の雨

▲漁夫と船夫の大立廻り 仁川署に昨日午前一時頃訴ふるものありて邦人は只今各國居留地先き埋立地にて大喧嘩ありて一人は負傷せりとの急報に警官は時を移さず現場に掛け付け取調べたる所之れより先き一昨日午後十一時吉貴號團平船乗組員西彌助(二十八)と漁船海岸町にて十吉(五十)との兩人が金錢貸借上の口論を始めたるを前記西彌助は前の説諭放還したるが後西彌助は船に乗り込み居たる中原某を尋ね行きたる途中各國居留地先埋立地にて又も出會ひ先刻はよくも己れを馬鹿にしたなと双方再び喧嘩に花を咲かせんとせし所に山本の友達がやつて來て協力西を打ちになし頭部に負傷を負せたるものなりと判明したれば双方を引致したり

滑稽なる訴へ

南山町三丁目無職某郎(二十六)は一昨三日夜十二時頃南部駱洞李家李書房方に至り一回の交接料二十錢の約束にて先拂ひの上蝎甫を買ひ約三十分を經て交接せざるに付き先に支拂たる五錢を返却せよと迫りたるも先方が應ぜざる爲め現場に有り合せの蒲團一枚を引つ擱んで其儘會洞派出所に訴へ出でしかば山本は既に三十分間も蝎甫と一室に遊興したるを以て例令交接せざるも笑を押へて李書房を呼出して取調べたるに金返却の義務なし然るに布團を持ち出したるは不埒なりとて却て激昂の模様なるより警官は双方を押し鎭め布團は李に返さしめたるが斯かる馬鹿の訴へを爲すは警察以來恐らく初めてなるべし

僞水兵の亂暴

仁川支那町飲食店に一昨日午前十一時頃水兵服を着けたる邦人入り來り酒肴を命じたるが頓て泥酔し居るものから三十錢分の料理を平らげたる所此れが端なくも水兵なりしも不埒者奴がと巡査に抵抗する所より警官の出張を乞ひたる所錦の水兵は益々亂暴を極め軍人にあらずして本署に引致し取調べたる處右は仁川郵便局の御用船梅...

淫代を踏んごす

永樂町二丁目六十六番戸車夫渡邊健太郎(二十二)一昨三日午前三時頃壽町一丁目八十番戸蝎甫姜永根方に至り妓生玉根(二十)を買つて同衾し目的を達したる後代金を支拂はずして立歸らんとするにぞ姜永根は引止めて支拂しめんとしに口論の結果健太郎は何思ひけん今の今己れが同衾せし玉根の横面を張り飛ばしたる騒ぎに警官出張して南部署に引致したるが同人は無一文の事とて翌日迄に支拂ふを誓ひ説諭放還す

淫賣屋のお灸

長谷川町二丁目飲食店野村梅次郎同町五番戸飲食店長谷川清一の三名粉粧せる酌婦を戸外に出して客引を爲さしめたる爲め清一、伊代松の兩人は科料金五十錢に梅次郎は再三同一犯罪ある爲め加重せられて同一圓に處せらる

賽錢泥棒の悔悟

曩きに南山公園地内の稲荷神社の賽錢を窃取したる末松榮吉は桐原署長の懇篤なる説諭に感じ金五十錢に詫狀を添へ同神社内神職三宅意美氏の許に送付したりと

龍山の大坂相撲

▲來る十一日が初日 大坂大相撲の東方大關大木戸同張出大關岩友關脇陣幕、扇海以下西昇、王の森等の一行は豫て大連に於て興行中の處愈今五日より漸次龍山に乗込み來る筈にて初日十一日と決定し前景氣頗る宜し

靴泥棒取押らる

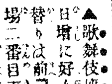
南部小龍洞九十八統五戸金基完(二六)は去る三日午後七時頃若草町二丁目三番戸土木受負業西田繁穂方に忍び入り玄關上り口に置きありし深護謨製靴一足を窃取逃走せんとせしを繁穂が發見し直ちに追跡して取押へ警官に引渡す

裸体となつて科料

旭町二丁目料理店都座小西忠三郎(二五)は去る一日午前九時二十分頃自宅前街路に於て裸体となり居たる爲め科料金二十錢に處せらる

猫先きの悪い男

本町二丁目田中清三(三三)は去月廿七日午前六時頃本町一丁目道路に放尿したる廉に依り科料金三十錢



演藝

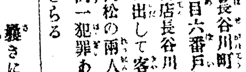
▲歌舞伎座 彰義隊一座は日増に好人氣なるが今日の替りは前『書生と力士』全五場二番目喜劇『エヘントン』にして此喜劇は故三遊亭圓遊の讀物にして大段返しに務むる由役割左の如し
小池妹れ妻后に藝妓た妻(西井)幇間二八(仁科)吉田幸一(桂木)岩内猛(河野)力士五大洲(玉川)巡査水野史郎(中村)弟子角力淀尾源十郎、職人八五郎(角村)弟子角力雲見山(大和)幇間三八(関宮)檢事正橋本秀雄、伯父甚兵衛(松村)村松お梅、僧珍念(小谷)茶店娘お花(小神)辻占賣書生(…)

食道樂

天草一幇間四八(有村)車夫甚吉(三島)茶店亭主(木村)元山崎、田舎爺吾作(美崎)小池駒吉、妓夫伊八(篠崎)村松敬助、若旦那長太郎(愛澤)

▲鍛そば 本町六丁目に本店を有し同四丁目に支店を有する同店は種物等は別段他店に比して格段の差はないと思ひますが獨りざるに至つては同店獨特の風味がある、全体そばと云ふものは藥味のものな精選するのは勿論であるが汁の加減に依りて大差のあるもので砂糖甘いなど最も禁物です各店とも一層振つて貰いたい(東仙坊投)

△此の種の投書を歡迎す



平民文庫

▲僕は勞働者だ車こそ輓かね荷物こそ擔がね馬こそ遂はね机の上の勞働者である、終日帳簿やペンと首つ引きをして疲れ切つた頭と胴體を引き摺る様にして家に歸ると行水に苦熱を流して一陶の芳醇に陶然とすれば既に八時である妻を相手に世間話しでもして居ると就寝は十一時になる帳中の暑熱を團扇に拂ひつゝウトウトと夢路に辿り入らんとすると淫靡なる弦聲が響き來る毎夜の如く夫れだ、隣りの家は料理屋なのだ(への字)

▲吾々店員朝は七八時より夜は十一二時迄店頭にての勤務月に一回位四五時間の郊外を逍遙するが休暇なり、或る人は苦しき生活と云へど慣るれば同じ事である吾は寧ろ世人が避暑よ旅行よと所謂快樂を追ふに苦めるを憫まざるを得ず(はの字)

▲本町八綿職工君よ、高くて上等のは自慢にならず、粗末でも安いのなら本町八丁目迄態々出掛けは致しません、精良して安く仕給へと云つた譯だ(別の人)

▲中田君何程ヒステリーや○○が恐ろしいとて毎日〳〵晝日中の待合入は少し謹みなさい知れたら大變ですよ(阿氣太郎)

▲六丁目の額緣屋の山の神が何も事情を知らずに已の以前の身分をも考へずに失敬な事を言觸らしたさて非常に立腹をして居る人がある全体何を言觸らせしや又以前の身分とは何の事だらうか(聞きたい生)

▲八月三日發行貴紙平民文庫中東拓小使頭秘書役長の腰巾着は松山生れの本岡京なるものを落籍して云々の記事は事實無根に付取り消され度右本岡京は薄命の者に付き義俠心よりして世話致し居るのみにて肉體上の關係なし爲念申候也右榊原榮印

▲北米倉町の愛と云ふ旅宿の妻君は毎夜店先に短い腰卷一枚で出て居るが余り外見の善いものではない(通行生)

▲龍山十五間通りの神戸と云ふ洋服店の隣なる氷店には若い女が三人居るがあんなに忙がしいのかしら(不審生)▲本町七丁目の末廣亭と云ふ飲食店の主人は自家の抱の酌婦は何うでも一度は手を附ける相だ呆れたね(杜替女)▲龍山鐵道官舎構内には用...

▲編輯防衆として第二合宿所先きに夜警詰所が出來て居るが彼んなに馬鹿者が多いのか知ら(呆れた生)▲京城座も青葉が脱したら眞暗だ何うして出たのかしら(政子)▲支那町通りの水月亭と云ふ飲食店の酌婦は往來では其の筋で取締りが厳重と云ふので二階からして通行の人々に向つて怪しからぬ言を弄する質に不都合だ主人たる者大に注意して宜いだらう(憤慨生)▲大漢門前横路の玉水亭の八重子さんに一筆申上候貴女は立派なる夫のあるにも不拘なんぼ金の爲めとは云ひながら毎夜清韓人を客に取りて愧ぢざるは敎育あるあなたにも似合はんではありませんか早く夫と一緒になつて身を固めたら何うです(あさ子)

紳士の遊興

右は紙面の都合に依り本日休載

配達出拂 午後七時三十分

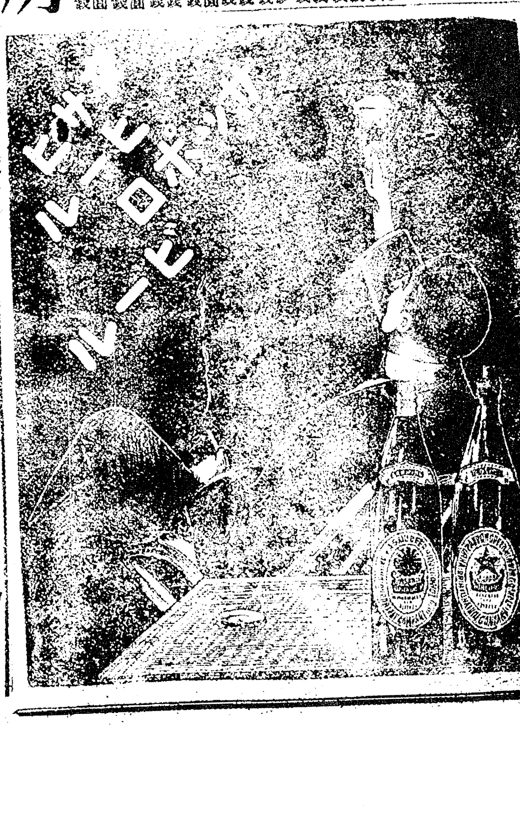
廣告

新刊圖書着荷廣告

書名	價
日本政治年鑑	定價六圓五十錢 特價四圓五十錢
日本百科大辭典(二卷)	特價七圓 小包料三十錢
大日本人名辭書	特價十一圓 小包料四十錢
言の泉	定價十二圓 小包料六十錢
再訂條約彙纂	定價十圓 小包料四十錢
現行法典全書	定價三圓廿錢 郵税十六錢
現行法令提要	定價二圓廿錢 郵税十錢
日本六法全書	定價一圓五十錢 郵税十錢
實用家庭百科全書	定價三圓六十錢 特價三圓
和英大辭林	定價二圓五十錢 特價一圓八十錢
修養論	定價一圓八十錢 郵税十六錢
歐州近世外交史	定價一圓六十錢 郵税十四錢
幕末勤王烈士手翰抄	定價一圓五十錢 郵税十四錢
米國の禍機	定價一圓六十錢 郵税十六錢
日本武士道	定價一圓七十錢 郵税十四錢
日本の武士	定價五十錢 郵税六錢
南無大師	定價二圓卅錢 郵税十六錢
民讀書論	定價五十錢 郵税六錢
冷灰漫筆	定價五十錢 郵税六錢
大審院判例と新刑法	定價一圓七十錢 郵税十六錢
誠忠武鑑	定價一圓八十錢 郵税十四錢
いたづら小僧日記	定價四十錢 郵税六錢
商才修養實驗	定價五十錢 郵税六錢
韓語通	定價一圓五十錢 郵税十四錢
韓日英新會話	特價一圓 郵税十二錢
女學生生理	定價五十錢 郵税四錢
眉山全集	定價二圓 郵税十四錢
金色夜叉終編	定價一圓 郵税十錢

京城 日韓書房

EDP 品質精良且廉價にして御進物に最適當なる高尚優美の士耳古 埃及 金口莨及葉卷 各種(百本入七十五錢以上)大安賣御來店御試み給へ 見本無代 本町二丁目 直輸入商 日希商會



一鴨綠江製材
一北海道松材
各種板類一切
及小割類種々
右今回弊店に於て販賣開始仕候間續々御用命被仰付度充分大勉強御高需に可應候
京城本町五丁目 煙上支店 山本村太郎 電話三七〇番

會員募集

彰義隊愛澤一座にて開演中の歌舞伎座も今回御贔負連の御進めに依り細く永く營機の機關として行末永く御滿足を充さん者と彰義隊と協議の上へ常興行として奇抜なる演題を撰定登場して其上左の如き簡天勤地の方法を以て至極輕便にし安直なる御觀劇の出來得る様に致したれば何卒觀劇會員となりて益々御引立を垂れ給わらん事を祈る

第一回彰義隊歌舞伎座觀劇會員

一等 金參圓也 (御一人樣三十日間に何時にても桟敷代も木戸錢も入らずに見るのが)
二等 金貳圓也 同様
女夫券
一等 金四圓五拾錢 (御二人連れ(男女各一人宛)で三十日間何時でも木戸錢も桟敷代も入らずに見るのが)
二等 金參圓也 同様

會員數に制限あり賣り切れざる内に至急御申込みあれ市内各所に取次所あり

旭町 歌舞伎座

待合 永樂町二丁目 嬉野

日韓電氣瓦斯株式會社公告
本月十日ヨリ株主總會終了ノ日迄株券ノ名義書換ヲ停止ス
明治四十二年八月

松岡醫院 南山町二丁目 電話六七五番
入院隨意 各科診療


自轉車大安賣 角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門通

各種 洗濯石鹸 專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目 (電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部
●行商人募集 石油行商人二十五歳以下身体强壯志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者本人來談 龍山元町三丁目韓組(三〇七)
●英文代書 通譯應需 本町一の七五中村
●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店裏武田質店(四一〇)
●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通ず不問職業被雇たし氏名在社(四一三)
●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社(四一二)
●望家庭教師 某美術學校卒業生廿三歳市内相當の家に被雇たし 氏名在社(四一四)

物件部
●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局(四一一)
●貸家 南山町二丁目にて煉化造二階建十疊と外四間二階二間家賃面談 氏名在社(四一五)

廣告

●臺灣總督府專賣局製劑 消毒防腐劑 デシン
藥學博士下山順一郎先生發明
發賣元 神戸 後藤商店
代理店 京城 新井藥房
效力確實 用法簡便 無毒安全 價格低廉 藥店ニアリ

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄
(電話 三三)

入院隨意
內外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
電話(二一六)

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路(元花屋跡)
かめ屋
▲懇切の下宿▼

梅毒專門
皮膚病一般
痔 注射療法(不要入院)
京城南大門朝市場櫻家旅館內
神戸養生院長
出張診察所
電話三百十二番
院長府立大坂病院專攻
元兵庫縣立臨原眼梅病院醫長
醫學得業士 盧田耕平
○資力乏しき病者には割引又は施療を爲す

南門湯横に病院新築中に付き本月末移轉開院す

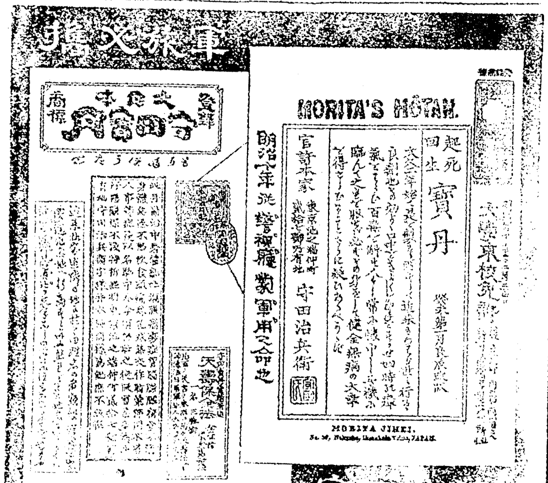
株式 東京火災海上運送保險會社
明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

登錄商標
外用 塗擦 治癢薬(ちそうやく)
最大瓶 一圓二十錢
大瓶 六十錢
中瓶 三十五錢
小瓶 二十五錢
○せんしんたむし○なます○せにがさ○いんきんたむし○しらくも○くさかぶり○みずむし○ひぜんがさ○がんがさ○しもやけ○うるしまけ
其他皮膚病一切に特効あり
右は弊店世に傳ふる處の靈藥にして皮膚病一切に用ひて卓効あり從來此により回春の幸福を得たるもの數多し今回大方諸君子の懇請默しがたく材料を精選し晩近の醫學に照らし加味調劑を正確にし官許を得弘く世に發賣せんとす世の皮膚病に患める士女願はくは一度本劑を試用し効果の顯著なるを御實驗御高評の程奉願上候
調劑發賣元 仁風堂 浦尾きち
韓國京城南部壽町一丁目浦尾旅館



內國製產博品覽會(於四十二年大阪市)
名譽賞大金牌受領
第六回製產品博覽會(於四十二年京都市)
名譽金賞受領
特約店(いろは順)
本町六 田中支店 電話七六四番
本町四 前田酒店 電話一三七番
本町五 酒井政平 電話六四番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
各學校御用品調達
委托販賣
東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店
本店
京城明治町二丁目 電話一二三番
出張所
東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二



代理店
新井藥房本店 京城南大門通三丁目(電話九百四十六番)
新井藥房第一分店 京城本町三丁目(電話四七八番)
新井藥房第二分店 京城南大門外

大日本 京城大和町壹丁目
牛乳 千山牧場
電話 二三三

大坂 荒物世帶道具一切
合 製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尙弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
合西 西崎嘉七本店
電話長二一〇 電路(二ヵ又は二)
振替貯金口座東京(九四一七番)

土管瓦煉瓦

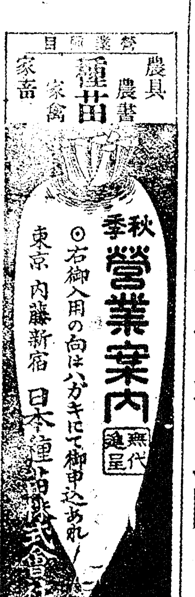
土管
陶榮商店の販賣する土管は摸範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり
瓦
陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり
煉瓦
陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり
右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候
陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌
土管瓦煉瓦販賣元
(肥) 京城本町二丁目
陶榮商店
電話百十三番

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 搾場夙に此に留意し好良の食料を給す
●搾場搾取の牛乳を愛飮せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飮用し得らるべし



京城本町五丁目(電四七番)
販賣元 川仁松尾支店
京城東四軒町(電七五番)
搾取所 松尾牧場

歐米雜貨各種
洋服毛織周衣地各種
(T)
京城明治町一丁目
建部商店



中賣 大出 元し
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、(の)精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候



東京 生そば
移轉御披露
京城旭町三丁目十六番戸(六月二十日月過下降)
東京庵
電話九五五番

萬天下に大好評を得たる專賣特許は又々一大改良
油厨爐を加へ僅に一マッチ一本にて圖の如く胴を取り外さず點火し直に使用し無煙無臭にして一大經濟要具なり無煙飯湯煮沸火を起し魚肉を燒く等一般の料理を即座に用を辯ず一時間の石油消費三勺一升の水七分間沸騰一升飯十八分間出來上る說明書申込次第送呈
東京小原式石



代理店
京城本町三丁目
辻濟和洋金物店
(電話九五九番)

焦心腦思多年苦慮研究の結果此の斯道に於て熟練なる腕前を有せる賢者を得て之に師事し恍然として悟る處ありて今回本業を開始す
易斷觀相數授通信判斷
京城本町五丁目
三一館
一件一圓 特別二圓

待合 貸席
月の家
本町五丁目三八
電話一〇七四

統監府御用
諸官衙御用
人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
本店 京城本町三丁目(電話四〇番)
出張所 同南大門驛構內(電話七三二番)

統監府御用 大韓宮內府御用 消毒 純良 特選御用 牛乳 荒井牧場 電話一〇五六

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山長崎門司神戸行
山東丸 八月廿一日午後三時出帆
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸 八月五日正午時出帆
●大連、太沽、牛莊行
山東丸 八月十七日午前四時出帆
●大連、太沽、牛莊行
酒田丸 八月廿六日正午
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行
立神丸 八月
注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金五十錢 ▲三ヶ月前金壹圓 ▲六ヶ月前金貳圓 ▲一ヶ年前金四圓 ▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 ▲四號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城新報社
京城西小門通 電話六六三番